

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 13日

中施策事業名	保健衛生事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020・8820表彰：80歳・88歳以上で自分の歯を20本以上保っている市民</li> <li>・フッ素塗布：1歳以上の市民</li> </ul>		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生涯にわたり歯を20本以上保ち、健康の保持増進につとめている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	医師会歯科医師会補助金		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
8020・8820表彰の 対象者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	270	270	270	270	270	270
	実績値	101	226				
単位	人						
・歯の衛生週間に 実施するフッ素塗 布人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	400	400	400	400	400	400
	実績値	0	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		8,997千円	8,495千円		
人 件 費	a 事業費合計	8,997千円	8,495千円	10,657千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		8,997千円	8,495千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		131円	123円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>歯科医師会と協議しながら事業を実施している。フッ素塗布事業については新型コロナウイルス感染症により各幼児健診・虫歯予防デーでの事業はすべて中止した。3年度より8020表彰について、88歳以上で20本以上自分の歯を保っている対象者まで拡充し、生涯にわたり歯の大切さを広く周知し、健康の保持増進を担っている。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生涯にわたり、より歯と口腔の状態を保つため、若い世代から意識づけを目的に節目歯科健診対象者への個人通知の工夫や実施期間を1年間に延長する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、フッ素塗布事業の再開、節目歯科健診対象者への個人通知の実施を継続する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 7月 25日

中施策事業名	成人検（健）診事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	1年に1度検（健）診を受診する。結果により、医療機関への受診等、健康に過ごすための行動を起こすことができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・がん検診 ・歯科健診 ・骨粗鬆症検診 ・特定健診 ・はつらつ健診 ・35-39歳健診 ・成人健診		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
胃がん検診における精密検査受診率 (要精密検査者数÷精密検査受診者数)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	89	89	90	90	90	90
	実績値	70.6	61				
単位	%						
各種がん検診延受診人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
	実績値	20,120	22,163				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		126,203千円	144,520千円		
人件費	a 事業費合計	126,203千円	144,520千円	151,593千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		5,227千円	8,377千円	6,179千円	
③ コスト(①-②)		120,976千円	136,143千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,758円	1,978円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>精密検査受診率は未受診者への受診勧奨・受診状況確認や医療機関との連携は定着してきている。各検診の受診率は新型コロナウイルス感染症により下がったままである。受診率の分析等は取りかかれていない。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>感染症により受診控えがないよう、検診の有効性や感染対策を講じて実施していることを個人通知等により周知し、受診率の向上の向け引き続き取り組んでいく。経年で把握している受診率の分析を行う。保健センター会場で実施する検診の委託業者選定の仕様書には、土曜日や女性医師の派遣がより多くできるよう盛り込んでいく。</p> <p>また医療機関で実施する検診においては医師会や委託医療機関の充実や検診実施期間、一部負担金等について協議していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>効果的な個人通知方法について検討し、また引き続き医療機関の検診及び精密検査受診率の向上に向け連携し取り組んでいく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	休日診療所事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日・祝祭日、年末年始に豊明市休日診療所を受診した者</li> <li>・市民</li> </ul>		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切にかかりつけ医を受診できている</li> <li>・急病の場合、豊明市診療所を知っており受診できている</li> <li>・緊急時に受診できる病院を知っており、受診することができる</li> </ul>		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市休日診療所事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
患者人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値	568	1,008				
単位	人						
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4	4	4	4	4	4
	実績値	4	4				
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		21,239千円	22,140千円		
人件費	a 事業費合計	21,239千円	22,140千円	23,691千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		4,886千円	11,418千円	22,000千円	
③ コスト(①-②)		16,353千円	10,722千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		238円	156円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 患者数の減少については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により受診控えがみられている。休日診療所の周知はされてきている。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き市民の安全安心な暮らしを維持していく。発熱患者の受け入れを行い、急病時の診療を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	急病時の相談先等、広報・ホームページの継続して掲載していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	健康づくり事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民自ら健康の増進や疾病予防のために行動し、また地域全体でも取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とよあけ健康21計画</li> <li>・CKD対策</li> <li>・健康相談</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業(出前講座、教室等)</li> <li>・健康マイレージ</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
とよあけ健康ウォーキング参加人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	830	830	830	830	830	830
	実績値	94	306				
単位	人						
大金星マイレージシートまいか交換枚数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	130	150	150	150	150
	実績値	33	28				
単位	枚						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		761千円	1,592千円		
人件費	a 事業費合計	761千円	1,592千円	1,379千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		761千円	1,592千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		11円	23円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p><b>B</b></p> <p>ウォーキング活動や健康マイレージについても感染症の流行により事業中止をしていたため、指標は大幅に低下している。</p> <p>令和2年度にウォーキング推進員発足15周年となる市内ウォーキングマップを作成予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により作成を見送り、3年度に作成した。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>第2次とよあけ健康21計画の目標のひとつ、身体活動・運動のキャッチフレーズ、生活の中に+（プラス）10分の運動を意識づけるため、継続して広報に「+10（プラステン）運動」を掲載する。また、ウォーキング事業参加を促すため、令和3年度に作成したウォーキングマップを広く周知配布していく。</p> <p>同時に、とよあけ健康21計画の中間目標として、様々な健康に関する行動変容のきっかけづくりである、マイレージ事業について、各事業を通じて周知していく。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>マイレージ事業について、参加者数の増加と合わせてマイレージ事業が多様な場所で受け取ることができたり、事業に参加していただく店舗等を増やしていく。</p> <p>令和6年度の第3次とよあけ健康21計画策定に向けた検討を行う。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	事業名	内容、理由、時期等
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
<p>今後、休廃止する事業</p>	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	保健センター維持管理	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	持続可能な財政計画を立て、評価・改善する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	各種検診・健康づくり事業の拠点として市民が安心して来所できる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設設備点検・保守		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
施設運営に重大な影響を与えた故障件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		12,333千円	10,785千円		
人件費	a 事業費合計	12,333千円	10,785千円	9,333千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		12,333千円	10,785千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		179円	157円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 定期的な点検保守により、事業に支障をきたすような故障は発生していない。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定期点検により、軽度な修理段階で異常を発見し、早期対応を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公共施設中期設備プランのもと、公共施設管理課と協議しながら長寿命化をはかっていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	食育推進事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
③中施策	子どもの健康な育みを支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	食に関する正しい知識を持ち、健康的な生活を過ごす		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ おやこ食育教室      ・ ヘルシーレシピ		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
3歳児健診の問診 項目「毎日朝ご飯 を食べている」と 回答のあった割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	96	96	96	96	96	97
	実績値	94.5	93.5				
単位	%						
ヘルシーレシピ設 置場所	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	8	8	12	12	12	12
	実績値	2	11				
単位	か所						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		0千円	46千円		
a	事業費合計	0千円	46千円	46千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		0千円	46千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	1円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>ヘルシーレシピの設置場所を公共施設及び市内スーパー等に増加し市民へのPRを実施した。新型コロナ感染症のためおやこ食育教室は参加者数を減らし縮小して実施した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ヘルシーレシピの設置場所を公共施設及び市内スーパー等の野菜売り場にすることで市民の食への関心が高まるとともにヘルシーレシピのPRにつなげる。 感染症対策を実施ながら、おやこ食育教室を開催する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ヘルシーレシピの設置拡大やおやこ食育教室でヘルシーレシピの活用する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等